

仏教の教え

Q なぜ、
数珠は左手首に掛けるのですか？

親族や知人がお亡くなりになると香典を持参します。香典は本来

いう意味です。現在ではお香の代わりに金銭を包むようになりまし
た。ところで、不祝儀袋の表書きを
「御靈前」とするか「御仏前」とす
るか迷ったことはありませんか？
通夜や葬儀の時は「御靈前」と書
きます。故人は亡くなつて四十九
日間は、まだ行き先が決まってい
ないからです。四十九日以降の表
書きは「御仏前」とします。

Q なぜローソクの火を
口で吹き消してはいけないのですか?

仏前の灯明は、私たちに智慧を与え、社会をよりよくし、一家が平和であるように、無言のうちに語っています。

ところで、この灯の消し方です。

誕生日のバースデーケーキにもローソクを立て誕生を祝います。それ自体は良いのですが、歌の後に、その灯を一気に吹き消します。バースデーケーキはそれで良いのかもしぐれませんが、仏前の灯は口で消してはいけません。日頃、生ぐさいもの食べている人間が、尊い仏壇や仏前に対して失礼に当たるからです。

仏前の灯は手であおいで消すか、「芯つまみ」

（ねんじゅ）とも呼ばれます。葬式の間は、常に数珠を手元に用意しておきましょう。数珠の正しい持ち方は、座っているときは左手首にかけ、歩くときはふさを下にして左手で持ちます。なぜ左手なのでしょう？それは、仏教の世界では、左手が仏の世界を表すと言わわれているため、基本的に左手首に掛けて持つようにします。

焼香の際に、数珠をかばんから取り出す方もいますが、数珠を扱う上ではマナー違反とされていいため気をつけましょう。



おもて うら

宛先

宛名

本文

心を浄化し、煩惱を断つ
(梵字)

日付

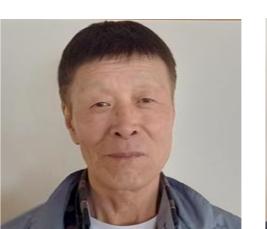
差出人

（例）親族で〇回忌法要を
しむした

護持会たより

護持会たより

日頃より雲林寺護持会の活動にご理解を賜り誠にありがとうございました。御報告させて頂きます。川原湯・畠地区の豊田清様が退任され、新任に清水英一様、北軽井沢地区の須原幸夫様が退任され、青木篤様が任命されました。豊田様、須原様には長きに渡り護持にご尽力頂き感謝申し上げます。六月二十七日、浅間酒造にて通常総会がございました。



令和6年度護持会収支決算 (単位:円)

(収入)	(単位:円)
前年度繰越金	1,613,543
会費(世話人集金)	1,270,500
会費(町外檀家)	513,500
通常総会会費	22,000
雑収入	182
	3,419,725

(支出)	
宗務費	617,290
通常総会	198,629
教区護持会総会	40,000
梅花流助成金	100,000
慶弔費	105,000
事務費	23,562
積立費	1,000,000
予備費	672,000

次年度繰越金 663,244

積立金 7,000,000

第15回雲林寺護持会親睦 ゴルフコンペのお知らせ

9月17日(水)
嬬恋高原ゴルフ場

徒の皆様の参加をお待ちしております。皆様おお誘いあわせの上、お申下さい。※過去に参加された方にはおきて通知いたします。



開山としている寺は、長源寺（安中市）です。長源寺は、元々は宝昌寺（群馬県高崎市）の開山でした。現在は、桂霄寺（群馬県安中市）が開山です。桂霄寺は、元々は九世和尚の開山でした。現在は、桂霄寺が開山です。



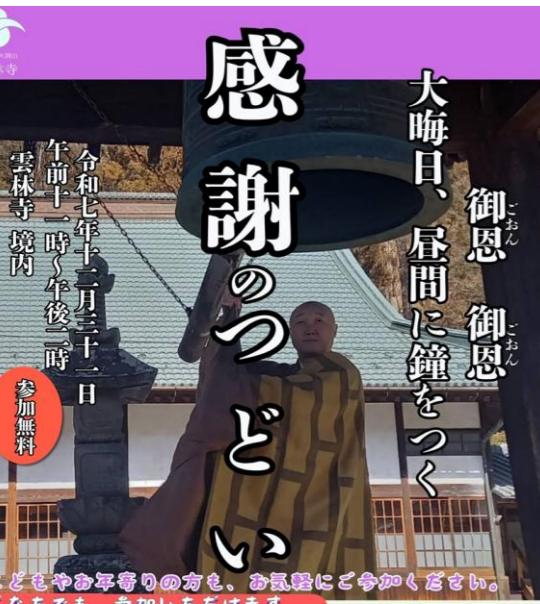
長源寺（安中市）



本堂西側のご開山様の像

お寺を創立するという事は、当時、相当な財力、権力があります。当時は初代の住職となつた人は誰だったのでしょうか？

開基へかいきと呼び、光は雲林寺の開基です。雲林寺の開山は為景清春（いけいせいしゅん）大和尚です。



参加無料

こどもやお年寄りの方も、お気軽にご参加ください。
どなたでも、参加いただけます。

3月15日、戦国の武将、海野長門守（うんのながとのかみ）が開基となって現所在地となる大字長野原に伽藍を建立しました。當時は、現在地の一段下に建立していたようです。海野幸光は、戦国時代に西吾妻地方の吾妻川左岸に勢力を持っていた武将です。戦国時代の羽根尾城に拠った羽尾景幸の孫にあたります。海野幸光は、天正九年（1581）、自身の屋敷である岩櫃城（いわびつじょう）で真田十勇士の伝説で有名な真田幸村の父、真田昌幸に滅ぼされました。享年は75歳でした。



三月十五日は雲林寺開山記念日

法灯を守る

3月15日、戦国の武将、海野長門守（うんのながとのかみ）が開基となって現所在地となる大字長野原に伽藍を建立しました。

當時は、現在地の一段下に建立していたようです。海野幸光は、戦国時代に西吾妻地方の吾妻川左岸に勢力を持っていた武将です。

戦国時代の羽根尾城に拠った羽尾景幸の孫にあたります。海野幸光は、天正九年（1581）、自身の屋敷である岩櫃城（いわびつじょう）で真田十勇士の伝説で有名な真田幸村の父、真田昌幸に滅ぼされました。享年は75歳でした。



1月12日 新春坐禅会

長野原スポーツ少年団（野球部・バレー部・水泳部）による、合同坐禅会がございました

2月2日 節分会

立春を迎えるにあたり、祈祷を申し込まれた方の厄除け祈祷法要をいたしました。



4月27日 大般若会

般若（はんにや）の風に当たることで、家内安全、厄難消除、商売繁昌などのご利益があるとされております。大般若会終了後は、お供えした御札を檀家様にお配りします。大般若会はどなたでも参加できるので、是非お越し下さい。



6月18日・19日 長野原署坐禅会

日頃より町民の安全のために仕事をしてくださる長野原警察署の署員の皆様が2班に分かれ、坐禅を体験していただきました。



12月31日 除夜の鐘

本年より、昼間に鐘を撞く「感謝のつどい」を開催します。詳しくは次ページを参照し、是非お誘いあわせのうえお越しください。

1月2日 新年祈祷会

総代・世話人様にお集まり頂き、雲林寺全檀信徒様が幸多い年となりますよう御祈祷いたしました。



1月28日 川原湯初不動

川原湯不動堂の初不動を祈祷させていただきました。1年で最初の「初不動」は最もご利益があるとされています。



5月15日 貝瀬薬師堂

国道292号沿い、中之条町六合地区へ向かう途中の貝瀬薬師堂を祈祷させていただきました。



7月15日 日本文化体験

長野原町の姉妹都市であるリビングストン市（米・モンタナ州）より交換留学生と引率の方10名が来山し、坐禅・書道・琴演奏の体験をされました。